

日本水素エネルギー産業会議 第7回会議 マイクログリッド研究の最前線 -

日時 2007年8月21日(火) 【見学会】13:00-14:00、【講演会】14:30-17:30

会場 東京ガス(株)横浜研究所 (本館1階 大会議室)

【主催】日本水素エネルギー産業会議

【内容(予定)】

◆◆見学会◆◆13:00-14:00

東京ガス(株)横浜研究所 マイクログリッド関連設備見学会(先着10名様、JHIF会員様優先)

◆◆講演会◆◆14:30-17:30

◆開会あいさつ

平田 賢 氏(芝浦工業大学学長、JHIF会長)

◆東京ガスにおける技術開発のご紹介

萩原 直人 氏(東京ガス(株)技術戦略部 技術戦略グループ)

「東京ガスの技術開発の概要および横浜研究所のご紹介」

◆講演1

塚田 龍也 氏(東京ガス(株)商品開発部 主幹)

「東京ガスにおけるホロニックエネルギーシステムへの取り組み」

◆講演2

白崎 義則 氏(東京ガス(株)技術研究所 水素システムチームリーダー)

「膜型反応器を用いる高効率水素製造技術の開発」

◆講演3

小林 隆重 氏(株)NTTファシリティーズ エネルギー-事業本部 ESP推進部長)

「品質別電力供給システム実証研究(NEDO委託研究事業)の取り組みのご紹介」

地域内におけるエネルギー需要と供給をマッチングするための制御技術はマイクログリッド(Micro-grid)と呼ばれています。今回第7回会議では日本におけるこのマイクログリッド技術開発の現状と展望に焦点を当てたいと思います。

このマイクログリッドシステムのコンセプトには極めて様々なバリエーションが存在し、コージェネレーションや水素エネルギー並びに新エネルギーの導入・普及において大きな役割を果たすものと期待されています。また、大型の発電プラントからの電力供給とは異なり、地域に存在するエネルギー資源を活用する技術としてエネルギーの自給やセキュリティ上の意義についても多面的な評価が行われつつあります。さらに、地域内で独自にエネルギー供給が可能であることから地域で異なった品質の電力などを供給するビジネスなども考えられています。

このような観点から今回は「マイクログリッド研究の最前線」をテーマとして技術開発の現状について世界の最先端の研究成果を当会会員の東京ガス、NTTファシリティーズに発表していただきます。合わせて今回は東京ガス様のご厚意により東京ガス横浜研究所の場所をお借りするとともにマイクログリッド研究に関する研究施設の見学会も実施いたします。

会議参加費

JHIF 会員は無料

非会員はお一人様 30,000 円 (銀行振り込み
又は当日現金払い)

お申込方法

参加を希望される方は、FAX 又はメールでお申込み下さい。FAX でのお申し込みは、下記申込書にご記入の上、お送り下さい。

メールで申し込みをされる方は、「8月21日第7回会議参加希望」として、貴団体名(フリガナ)、部署・役職名、参加者名(フリガナ)、電話、FAX、メールアドレス、入場券受取方法(メールまたはFAX)を明記の上、事務局(info@ueri.co.jp)までお送り下さい。受付後、案内状(入場券)を送付いたします。

申し込み後、受付の連絡がない場合は、事務局までお問い合わせ願います。当日は、入場券のない場合、ご入場いただけませんので、忘れずにおもちください。

申込締切日

8月16日(木)

振込先

三菱東京UFJ銀行 本店 普通 0366956
名義：日本水素エネルギー会議

連絡先

日本水素エネルギー産業会議事務局 担当：田島
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-3-20
仙石山アネックス 4F
(株式会社ユニバーサルエネルギー研究所内)
TEL: 03-5408-1118 FAX: 035408-0058

会場案内

東京ガス 横浜研究所
(横浜市鶴見区末広町1-7-7)
TEL: 045-500-8700

最寄り駅

JR京浜東北線・鶴見駅
又は京浜急行線・京急鶴見駅より川崎鶴見臨港バス(鶴見駅東口7番乗り場)「ふれーゆ」行きで「東京ガス前」下車 15分



JHIF 日本水素エネルギー産業会議 第7回会議

日本水素エネルギー産業会議事務局行 FAX: 03-5408-0058

会員・非会員(ご招待)・非会員(一般)(いずれかに をお付け下さい)

お支払い方法(銀行振り込み・当日現金払い)

(フリガナ)			
貴団体名			
部署・役職			
申込者氏名		E-mail	
TEL		FAX	
入場券受取方法	メール(PDF) / FAX (どちらかに をつけてください)		

複数名お申込される場合、本申込書をコピーしてお使い下さい。